

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種 目 国 語

2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴
新しい国語 東京書籍	<p>①言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士が互いに助言し合ったり、議論を通して考えを深めたり、お互いの考えを生かして結論をまとめたりする課題解決的な言語活動が数多く設けられ、対話を通して学びが深められる工夫がなされている。 ・「話すこと・聞くこと」の教材冒頭には、身につける「言葉の力」（資質・能力）に対応する「目標」・「問いかけ」が示され、生徒が「言葉の力」を意識しながら学習に臨めるように工夫されている。また、教材末尾には記述式の「振り返り」が設けられ、「言葉の力」の確実な習得を促し、自己評価ができるようになっている。 ・教材冒頭に D マークの付された教材には、聞き取り用の音声や、スピーチ・話し合いなどの映像が、ウェブページに用意されている。 <p>②内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の題材として、生徒の興味・関心を喚起し、日常生活・社会生活に関わるものが取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」→ 1年…言葉に関するスピーチ，グループディスカッション等 2年…提案型プレゼンテーション，リンクマップを用いた話し合い等 3年…場の条件に合わせたスピーチ，合意形成を目指す話し合い等 「書くこと」→ 1年…食文化に関するレポート，写真についての意見文，日常生活を描いた随筆等 2年…郷土を紹介するリーフレット，まちづくりについての意見文，職場体験の依頼状等 3年…環境に関する新聞の編集，ポスターの批評文等 「読むこと」→ 1年…図表が用いられた記録文（「私のタンポポ研究」） 2年…同じテーマについて異なる視点から論じられた評論文（「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」） 3年…作中人物の対話を読み解いて考えを深める評論文（「幸福について」） ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、活動過程の具体例や完成作品例、対話の例が豊富に示されており、生徒の多様な思考・表現を支援する配慮がされている。 ・「読書」の教材や資料編に読書案内が付されている。テーマ別で読み比べや読み広げを促したり、近代文学の名作や作家を紹介したり、著名人が本を推薦したりするなど、様々な読書案内が用意されている。3年間で 361 冊の本が紹介されている。 ・キャラクターの使用，物語やゲームを取り入れた教材，漫画による導入など，学習意欲を高める仕掛けが工夫されている。

- ・物語仕立ての「日本語探検」、ゲームで学べる「文法の窓」、言葉の学びを深めるきっかけとなる漫画「学びの扉」が設けられていて、生徒の学習意欲をかき立てる工夫がされている。

③【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

〔知識及び技能〕の3事項教材数

学年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合計
	言葉	漢字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読書	
				古文	漢文			
1年	8	6	6	3	1	1	3	28
2年	6	7	6	3	1	0	3	26
3年	5	7	6	2	1	1	3	25
合計	19	20	18	8	3	2	9	79

〔思考力、判断力、表現力等〕の3領域教材数

学年	A話すこと・聞くこと		B書くこと			C読むこと		合計
	話すこと 聞くこと	話し合うこと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1年	2	1	2	1	3	4	7	20
2年	2	1	2	1	3	5	7	21
3年	2	1	1	1	2	4	8	19
合計	6	3	5	3	8	13	22	60

- ・巻頭に「〇年で学ぶこと」が示されている。各領域で「系統」「教材名」「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「他領域との関わり（C領域のみ）」の6項目（C領域のみ7項目）で整理されている。
- ・各教材が「目標」・「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成されているので、生徒が主体的に学習に取り組んだり振り返ったりすることができる。
- ・「A話すこと・聞くこと」に関して、「聞く」「話す」「話し合う」という構成になっている。
- ・「B書くこと」に関して、比較的大きな言語活動を行う教材は「伝達」「論証・説得」「感性・創造」の3系統からなっており、技能練習を中心に短時間で扱える小教材は「詩歌創作」「通信・手紙」「描写・表現」の4系統からなっている。
- ・SDGsをはじめとした様々な現代的な諸課題が数多くの教材で扱われている。
 - 1年…「碑」（戦争・平和）、「風を受けて走れ」（人権・福祉・国際理解）、「調べて分かったことを伝えよう」（伝統・文化）等
 - 2年…「字のない葉書」（戦争・平和）、「鯉節ー世界に誇る伝統食」（伝統・文化）等
 - 3年…「いつものように新聞が届いたーメディアと東日本大震災」（防災・安全）、「絶滅の意味」（環境）、「何のために『働く』のか」（キャリア教育）、「観察・分析して論じよう」（食品ロス）等

④文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。

- ・各学年の冒頭に、巻頭詩、扉の詩七編（1年）・短歌七首（2年）・俳句七句（3年）が設けられており、名作にふれながら日本語の美しさを味わうことができるように

- 工夫されている。
- 本文書体に、小学校の教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を近づけた特別な明朝体が使われているため、生徒が読む文字と書く文字との違いで混乱することを避けられる。
- 小学校で学習していない漢字には、教材ごとの初出箇所に必ず振り仮名が付けられている。生徒の漢字への抵抗感を和らげ、漢字に読み慣れることができるように配慮されている。
- 古典作品については、1年で生徒に馴染みのある「浦島太郎」「伊曾保物語」「竹取物語」故事成語が取り上げられ、2年で「枕草子」「徒然草」「平家物語」や漢詩、3年で論語、「万葉・古今・新古今」「おくの細道」と続き、文種（ジャンル）や内容、成立年代のバランスを考慮して取り上げられている。各教材には作品や作者に関する解説が掲載されており、我が国の言語文化を尊重し継承する態度を養える。

現代の国語
三省堂

①言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。

- 各学年とも「知識・技能（言葉の特徴や使い方・言語文化・情報の扱い方）」と「思考力・判断力・表現力」のつきたい力が明確になっていて、言語活動を通して国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容になっている。
- 「学びの道しるべ」に「目標」「内容整理」「読みを深める」「自分の考えを深める」「学びをふり返る」と学習の流れが明確である。
- 「学びの道しるべ」の中に「語彙を豊かに」があり、語彙を増やすのに有効である。
- 各学年に「読むことを学ぼう」というコラムが用意され、「読むこと」領域の学習に生かせる技術や「コツ」を学べるようになっている。
- 文章がそれぞれの学年に合わせて読みやすく興味を引きやすいものとなっている。
- 資料に「情報を活用する」「社会生活に生かす」など効果的な資料が多い。

②内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

- 言語活動の題材として、生徒の興味・関心を喚起し、日常生活・社会生活に関わるものが取り上げられている。

「話すこと・聞くこと」→1年…グループディスカッション、日常生活の中のスピーチ等

2年…グループディスカッション、プレゼンテーション等

3年…グループディスカッション、パブリックスピーキング等

「書くこと」→1年…身の回りのできごとなどのレポート、随筆等

2年…手紙、短歌、俳句、情報を関連づけ根拠を明確にする投稿文等

3年…図や表を使った課題作文、観察分析を通じた批評文等

「読むこと」→1年…図表が用いられた記録文（「クジラの飲み水」）

2年…図表が用いられた評論文（「100年後の水をマモル」）

3年…科学と社会の関係についての論説（「フロン規制の物語」）

- 文章がそれぞれの学年に合わせて読みやすく興味を引きやすいものとなっている。
- 巻末の「読み方を学ぼう」で示されているように、各学年ごとに段階的に読み方を学べる工夫がある。
- 本編と資料編の2部構成になっていて、資料編には実践的な方法や社会生活で役立つ知識がまとめられていて、生徒の生活や経験、興味・関心に応じた内容になって

いる。

- ③〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

〔知識及び技能〕の3事項教材数

学年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合計
	言葉	漢字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読書	
				古文	漢文			
1年	6	4	1	3	2	1	3	22
2年	6	3	1	3	2	0	3	20
3年	5	2	1	2	2	1	3	18
合計	17	9	3	8	6	2	9	60

〔思考力、判断力、表現力等〕の3領域教材数

学年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合計
	話すこと 聞くこと	話し合うこと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1年	1	1	2	2	3	3	7	19
2年	1	1	2	2	3	4	6	19
3年	1	1	3	2	0	4	6	17
合計	3	3	7	6	6	11	19	55

- ・「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」の構成・配列が各学年とも適切であり、資料編や「読み方を学ぼう」を活用することで家庭学習や自主的な学習を進められる配慮がされている。
- ・教材の構成が目標の確認・学習の流れ・学習のポイント・学びを振り返るといった流れになっていて見通しを持って学習できるように工夫されている。
- ・各領域で、バランス良く構成配列されていて、学習がしやすくなっている。
- ・「話すこと・聞くこと」など様々な活動の方法があげられ、生徒が日常の学校生活でも使いやすい工夫がある。
- ・様々な現代的な諸課題が数多くの教材で扱われている。
1年…「字のないはがき」(戦争・平和)、「クジラの飲み水」(海の豊かさ)等
2年…「人間は他の星に住むことができるのか」,「100年後の水を守る」(環境)等
3年…「フロン規制の物語」(環境),「情報社会を生きる」(メディアリテラシー)等

- ④文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。

- ・古典に親しませるための教材として適切である。写真資料等も効果的である。
- ・巻末に古事記、古典芸能などを取り上げ、生徒の興味を引くものとなっている。
- ・ユニバーサルデザインを生かし、学習者に読みやすい書体や上下段で情報を区別するなど文字や表記に配慮がされている。
- ・古典学習では現代と関連づけた導入の工夫やビジュアルな資料、折り込み資料などを活用できるなど、言語文化への興味関心を高める工夫がされている。(「古典に学ぶ」1年)
- ・二次元コードを読み取るとウェブサイト上で関連資料を読み取れるようになっていて家庭学習にも生かされる工夫がされている。
- ・「読み方を学ぼう」や「古文・漢文の読み方」などの読解の仕方などを提示し、古

典を読む力を定着させる工夫がされている。

伝え合う言葉
中学国語
教育出版

①言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。

- ・各学年とも「知識・技能（言葉の特徴や使い方・言語文化・情報の扱い方）」と「思考力・判断力・表現力」のつけたい力が明確になっていて、言語活動を通して国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容になっている。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、「学習活動の流れ」を掲載し、どう学べばよいかを示している。
- ・教材の前に「学びナビ」を配置し、教材で学ぶ内容やポイントが明示され、意識的に教材の学習を行える工夫がされている。
- ・単元で身につけたい学習用語の説明が学習に効果的であり、語彙を増やすのに有効である。

②内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

- ・社会生活における表現力や言語コミュニケーションについて取り上げたコラム教材「言葉と社会」が、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の両領域を視野に含めて教材化されている。

「話すこと・聞くこと」→1年…お気に入りの一品を紹介する、言葉とコミュニケーション、イメージを言葉にする等
2年…質問する力をつける、社会生活と言語コミュニケーション、社会で求められる表現等
3年…一言でまとめ一言から広げる、コミュニケーションの場を考える、自分の意見を述べる時等

「書くこと」→1年…資料から得た根拠を元に意見文、読み手を意識した報告文等
2年…新聞の投書、構成を明確にした手紙等
3年…具体例をもとにした説明文、自己PR文等

「読むこと」→1年…写真や図が用いられた説明文（「自分の脳を知っていますか」「森には魔法使いがいる」）
2年…現代的な諸課題を取り上げた数多くの教材（「持続可能な未来を創るために」「紙の建築」）
3年…現代的な諸課題を取り上げた数多くの教材（「持続可能な未来を創るために」「生命とは何か」「地球は死にかかっている」）

- ・「読書」の教材や読書案内が付されている。3年間で353冊の本が紹介されている。
- ・各領域で、他教科に関連するテーマの教材を取り上げていて生徒の生活や経験、興味や関心に応じた内容となっている。（例「ウミガメの保護活動」2年）。
- ・SDGs教材「持続可能な未来を創るために」を各学年に掲載し、生徒が自ら課題を発見し、問いに向き合い、考えを深められる工夫がされている。

③【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

〔知識及び技能〕の3事項教材数

学年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項			読書	合計
	言葉	漢字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化		
				古文	漢文			

1年	5	5	3	2	1	1	2	19
2年	6	5	2	2	1	0	2	18
3年	6	5	2	2	1	0	2	18
合計	17	15	7	6	3	1	6	55

〔思考力、判断力、表現力等〕の3領域教材数

学年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合計
	話すこと 聞くこと	話し合うこと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1年	3	1	3	1	1	5	6	20
2年	4	1	2	2	1	6	6	22
3年	3	2	3	1	0	6	9	24
合計	10	4	8	4	2	17	21	66

- ・巻頭に「言葉の地図」が示されている。各領域で「教材」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の3項目で整理されている。
- ・「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」の構成・配列が各学年とも適切である。
- ・文学的文章や説明的文章の教材や活動の前に「学びナビ」というページを掲載し、「何を学ぶか」などを学習してから教材に入る構成のためより深く読む力がつくように工夫されている。
- ・巻末付録に、「言葉の自習室」という本教材や他教科の学習に生かせる作品や資料を掲載し、自学的な学習ができるように工夫されている。
- ・「学びリンク」という学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができ、学びを広げたり自分の力で学習に取り組んだりするための資料などが用意されている。
- ・SDGsの視点から全学年、各領域で扱う教材や話題を設定している。
 - 1年…「碑」（戦争・平和）、「風を受けて走れ」（人権・福祉・国際理解）、「調べて分かったことを伝えよう」（伝統・文化）等
 - 2年…「字のない葉書」（戦争・平和）、「鯉節ー世界に誇る伝統食」（伝統・文化）等
 - 3年…「いつものように新聞が届いたーメディアと東日本大震災」（防災・安全）、「絶滅の意味」（環境）、「何のために『働く』のか」（キャリア教育）、「観察・分析して論じよう」（食品ロス）等

④文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。

- ・ユニバーサルデザインを生かし、学習者が見やすく、わかりやすくなるための工夫がされている。1年生の教科書では、2・3年生の文字よりも大きく、行間を広くしている。
- ・多様な古典教材を扱い古典の教養を培う工夫がされている。
- ・巻末の「言葉の自習室」では「伝統芸能へのいざない」というコーナーを設けて生徒に伝統芸能への興味を抱かせる工夫がされている（「落語」1年「歌舞伎」2年「狂言」3年）。

中学校国語
光村図書

①言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。

- ・各学年とも、年度の初めに「続けてみよう」というページが用意され、日々の生活の中で考えたことや見つけたことを書き留める習慣作りを意図している。
- ・対話・質問、スピーチ、プレゼンテーション、討論、合意形成の話し合いなど、社会生

活や他教科の基盤となる多様な言語活動が、相手や目的に応じて柔軟かつ主体的に行えるよう工夫されている。

- ・教材冒頭には、これまで身につけた資質・能力を「生かす」場を、末尾には習得した力を日常生活や学校生活、将来に「つなぐ」ための具体例が設けられ、当該学習で育む資質・能力は、「学習の窓」で簡潔に解説されている。
- ・聞き取りや話し合いの過程で、思考ツールや図表を用いて情報を視覚化し、整理しながら共有する方法が具体的に示されている。
- ・話すことのプロであるスピーチコンサルタントやコピーライターが、話し方を伝授する「達人からのひと言」が新設されている。
- ・全ての本教材にQRコードが付され、スピーチや話し合いの様子を動画で見られるように工夫されている。

②内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

- ・1年生の冒頭（「言葉に出会うために」）では、小学校の国語科において学習した内容を振り返りながら、中学校の3領域の学習に生きる内容がコンパクトにまとめて提示されている。ここは、中学校3年間の国語学習の導入にもなっている。
- ・各学年とも8つのまとまりで教材が構成されている。まとまりごとの教材数は、発達段階や学習の持続性が考慮され、軽重をつけてバランスよく配列されている。
- ・学校生活への不安をなくし、明るくスタートできるよう、1年の第1教材に入る前に、小学校での既習事項を確認できる「言葉に出会うために」が設けられている。また、3年では、高校で出会うような作家・評論家の文章や古典作品が紹介されるとともに、小論文や文語文法（発展）も扱われ、連携に配慮されている。
- ・言語活動の題材として、生徒の興味・関心を喚起し、日常生活・社会生活に関わるものが取り上げられている。

「話すこと・聞くこと」→1年…構成を工夫したスピーチ、グループディスカッション等

2年…資料を示したプレゼンテーション、立場を尊重した話し合い等

3年…説得力のある構成を考えたスピーチ、合意形成に向けた話し合い等

「書くこと」→1年…案内文、資料を引用したレポート、故事成語を使った体験文、体験を基にした随筆等

2年…職業ガイド、表現を工夫した手紙や電子メール、根拠を示した意見文、魅力を効果的に伝える鑑賞文等

3年…修学旅行記、説得力のある批評文、グラフを基にした小論文等

「読むこと」→1年…図表が用いられた記録文（「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ）

2年…図表が用いられた記録文（「クマゼミ増加の原因を探る」）、同じテーマについて異なる視点から論じられた評論文・解説文の比較（「君は「最後の晚餐」を知っているか」「最後の晚餐」の新しさ）

3年…批判的に読んで自分の考えを深める論説文（「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」）

③【知識及び技能】及び【思考力、判断力、表現力等】の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

【知識及び技能】の3事項教材数

学年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項				合計
	言葉	漢字		伝統的な言語文化		言葉の由来や変化	読書	
				古文	漢文			
1年	6	5	6	3	1	1	4	26
2年	8	5	6	4	1	0	4	28
3年	5	4	4	4	1	1	4	23
合計	19	14	16	11	3	2	12	77

〔思考力、判断力、表現力等〕の3領域教材数

学年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと			C 読むこと		合計
	話すこと 聞くこと	話し合うこと	説明的な文章	実用的な文章	文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1年	5	2	4	4	4	5	10	34
2年	3	2	5	3	3	4	10	30
3年	4	2	3	2	1	4	9	25
合計	12	6	12	9	8	13	29	89

- ・巻頭に「学習の見通しをもとう」が示されている。各領域で「教材」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の3項目で整理されている。
- ・「話すこと・聞くこと」教材には全てQRコードが付されており、スピーチや話し合いの様子を動画で見ることができる。また、「読むこと」教材には適宜QRコードが付されており、文章の内容に関連する資料動画や、作者・筆者へのインタビューが収録されているので、生徒の知的好奇心を喚起し、教材内容への理解を深める配慮がされている。
- ・「書くこと」の教材数が各学年6～12と多い。扱われている文種も多い。説明、レポート、案内文、手紙やメールなど、社会生活や他教科の学習の基盤となる多様な言語活動が設定されている。
- ・書くことのプロである小説家やエッセイストが、書き方を伝授する「達人からのひと言」が設けられたことで、学びが将来に役立つことが実感できるとともに、キャリア教育にもつながるように配慮されている。
- ・「読むこと」に関して、SDGsに代表される現代的な諸課題を幅広く取り扱った教材が数多く用意されている。
 - 1年…「幻の魚は生きていた」（安全な水とトイレを世界中に）、「大人になれなかった弟たちに……」（平和と公正をすべての人に）等
 - 2年…「クマゼミ増加の原因を探る」（陸の豊かさも守ろう）、「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」（住み続けられるまちづくりを）、「モアイは語るー地球の未来」（つくる責任 つかう責任）等
 - 3年…「エルサルバドルの少女 ヘスース」（質の高い教育をみんなに）、「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」（産業と技術革新の基盤をつくろう）、「握手」「故郷」「温かいスープ」（人や国の不平等をなくそう）等
- ・「読むこと」の「学習」（手びき）には、身につけた資質・能力を言語化したり他の場面で活用（転移）したりすることで自覚するための課題、「振り返る」が設けられている。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動には、領域を超えて身につけた資質・能力を当該学習に「生かす」場（冒頭）と、習得した資質・能力を日常生活や学校生活、将来に「つなぐ」ための具体例（末尾）が位置づけられている。そのため、学習したことを社会生活や他教科の学習に生かしていけるような教材構成として工夫されている。
- ・各学年の最後に、1年間で習得した資質・能力を生かして各領域の問題に取り組む「学習を振り返ろう」が設けられており、身につけた力を自覚し、他教科や日常生活に主体的に生かしていけるように配慮されている。

- ・年間2カ所の特設教材「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」では、読み広げや読み比べ、本の探し方を体験的に学ぶことで、日常の読書にいざなう構成になっている。特設教材内の「本の世界を広げよう」や「読むこと」教材末尾の「広がる読書」では、3年間で412冊に上る図書が紹介されている。

④文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。

- ・漢字教材や新出漢字欄では、手書き文字に近い教科書体を使用している。
- ・巻末に「学習のための用語一覧」が設けられ、学習用語の検索がしやすい。「文学的（説明的）な文章を読むために」では、学習事項の意識化・定着化が図れる。
- ・年間4カ所設けられた「季節のしおり」では、四季にまつわる詩歌や季語が紹介され、生徒が豊かな感性を磨くとともに、伝統的な日本文化にふれる機会が設けられている。
- ・我が国の伝統的な言語文化である短歌や俳句、時や色、季節を表す伝統的な言葉などが数多く紹介され、日本語そのものの表現に着目し、興味をもつことができるように工夫されている。
- ・古典作品については、1年で生徒に馴染みのある「いろは歌」「竹取物語」故事成語が取り上げられ、2年で「枕草子」「平家物語」「徒然草」や漢詩、3年で論語、「万葉・古今・新古今」「おくの細道」と続き、今に続く人生観や美意識を共感できる教材が取り上げられ、言語文化について興味関心を喚起している。
- ・1年に「百人一首を味わう」、2年に「郷土ゆかりの作家・作品」、3年に「古典・近代文学の名作」がそれぞれ資料として掲載され、代表句や名作の冒頭部分等が紹介されており、美しい日本語や身近な文学作品に興味関心を喚起する教材になっている。